

平成 20 年 10 月 27 日（月）

第 2 回草津市総合計画審議会 資料 3

第 5 次草津市総合計画策定 に向けての市民意識調査

調査結果（速報）

平成 20 年 10 月

草津市

調査概要

(1)調査の目的

この調査は、第4次草津市総合計画期間終了を控え、その改定に向け市民が日頃の生活の中で感じていることや、これからの草津市のまちづくりへのアイデア、市政に対する率直な意見等を的確に把握し、第5次草津市総合計画策定に向けての基礎資料とするために実施した。

(2)調査対象者

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳及び外国人登録原票から、年齢、居住地域による2段階の層化無作為抽出

【抽出条件】

抽出基準日： 2008年8月1日

(3)調査の方法

調査は無記名とし、平成20年9月5日(金)～9月16日(火)を調査期間として、郵送により実施した。

(4)回収の状況

有効回答数 1,013 件、有効回答率 33.8%を得た。

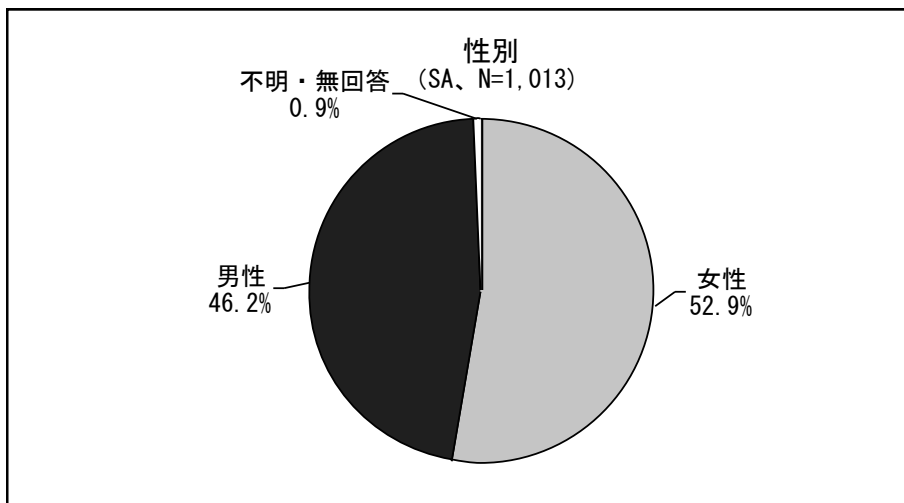
調査結果の表記について：百分率については、それぞれの調査の有効回答数(N)、あるいは当該設問の回答者数(n)を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない。また、グラフまたは表内に示した記号のうち、SAは単数回答、MAは複数回答を示す。

調査結果

(1) 回答者属性

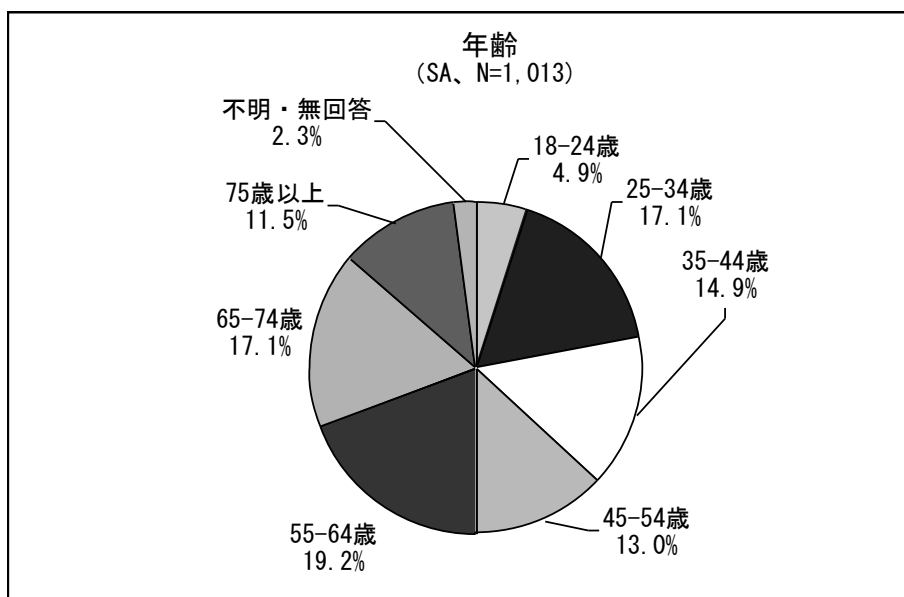
① 性別

回答者の性別は、「女性」が 52.9%、「男性」が 42.6%となっている。



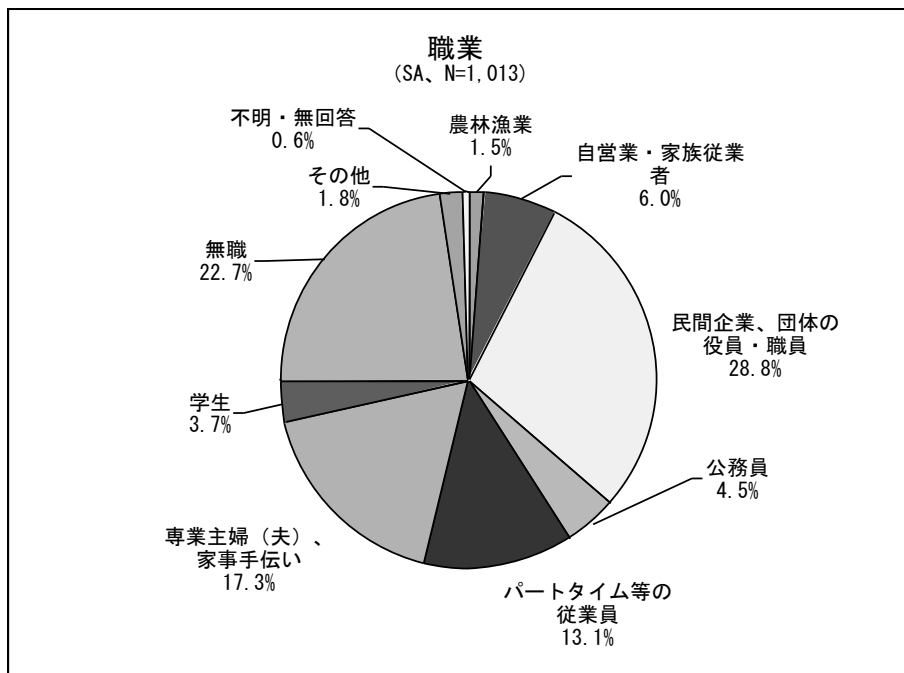
② 年齢

回答者の年齢は「55-64 歳」が 19.2%と最も多く、次いで「25-34 歳」が 17.1%、「35-44 歳」が 14.9%などとなっている。



③ 職業

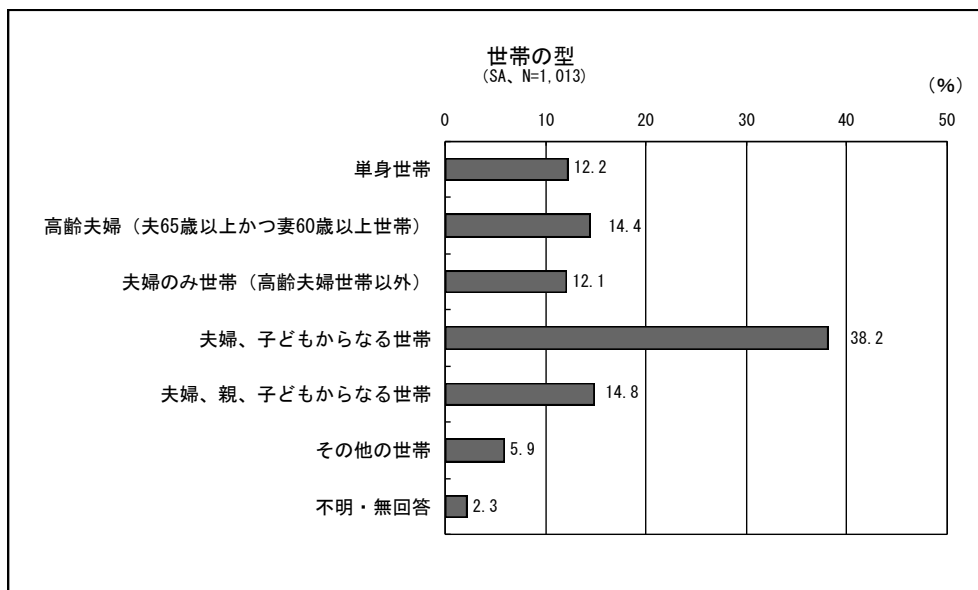
回答者の職業は、「民間企業、団体の役員・職員」が28.8%と最も多く、次いで「無職」が22.7%、「専業主婦(夫)、家事手伝い」が17.3%、「パートタイム等の従業員」が13.1%などとなっている。



④ 世帯の構成

回答者の世帯の型は、「夫婦、子どもからなる世帯」が38.2%と最も多く、次いで「夫婦、親、子どもからなる世帯」が14.8%、「高齢夫婦」が14.4%、「単身世帯」が12.2%などとなっている。

また、18歳未満の子どもがいる世帯は26.7%、65歳以上の高齢者と同居している世帯は18.5%となっている。



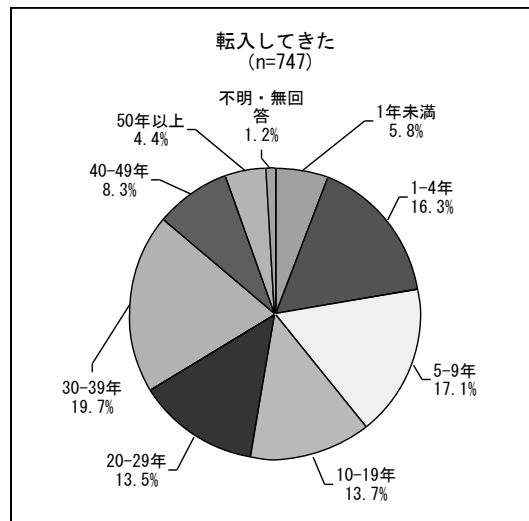
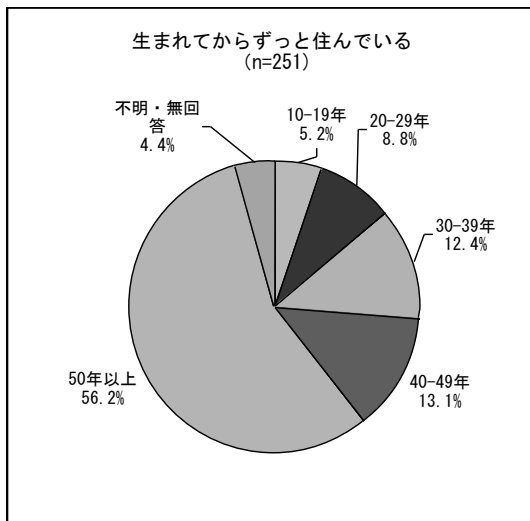
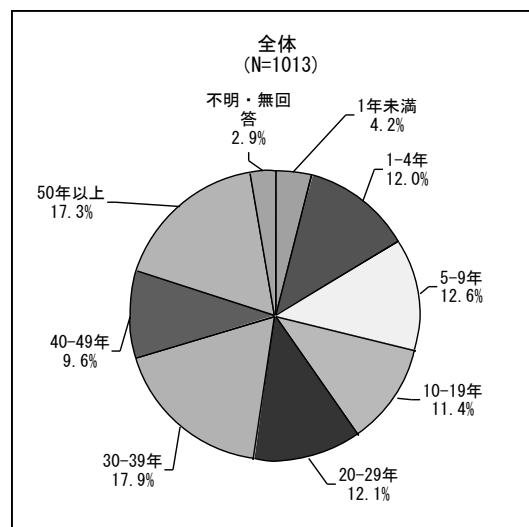
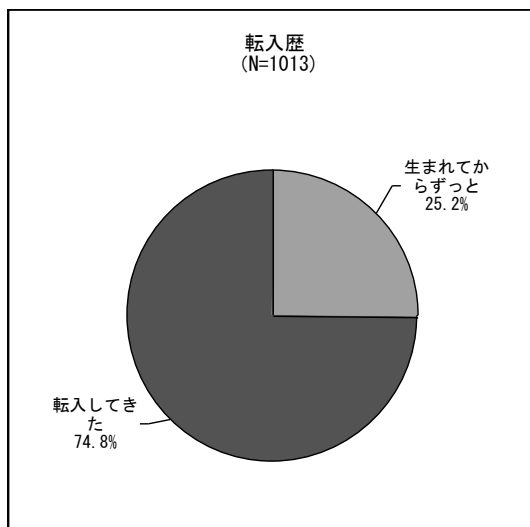
⑤ 居住年数

回答者のうち、転入してきた人は73.7%となっている。

回答者の居住年数は、合計では「30-39年」が17.9%と最も多く、次いで「50年以上」が17.3%、「5-9年」が12.6%などとなっている。

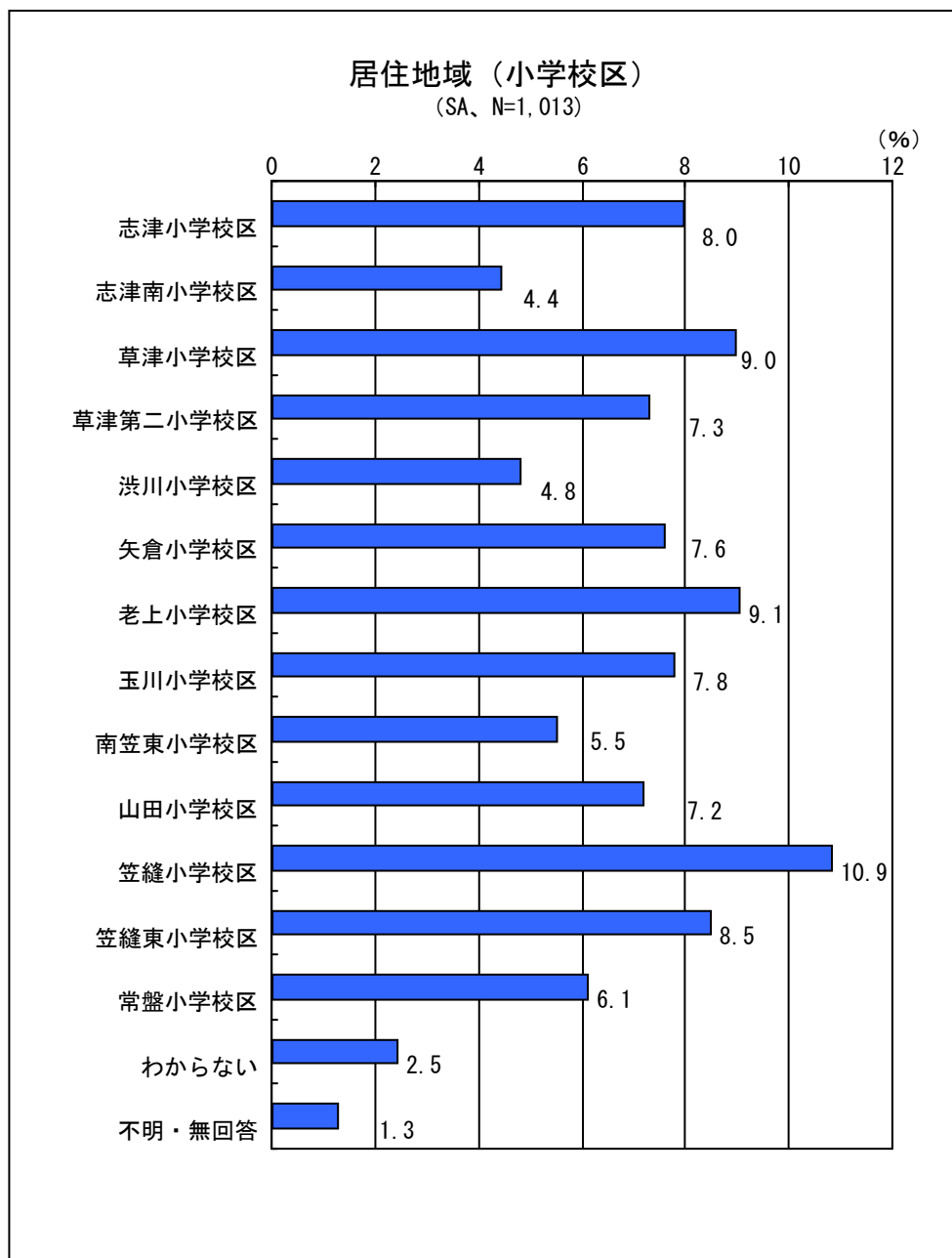
生まれてからずっと草津市に居住している人は、「50年以上」が56.2%と最も多く、次いで「40-49年」が13.1%、「30-39年」が12.4%などとなっている。

転入してきた人は、「30-39年」が17.1%と最も多く、次いで「5-9年」が16.3%、「1-4年」が5.8%などとなっている。



⑥ 居住地（小学校区）

回答者が居住している小学校区は、「笠縫小学校区」が10.9%と最も多く、次いで「老上小学校区」が9.1%、「草津小学校区」が9.0%などとなっている。



(2)市の施策やまちの住み心地

① 「くさつ 2010 ビジョン」に基づく取り組みの満足度

「満足」が最も多いのは、「人権教育のほか、人権についての知識普及と意識啓発の取り組み」で 8.9%、次いで「ごみの適正処理と環境美化の取り組み」が 6.6%、「JR 駅周辺等の市街地整備」「おいしい水の安定した供給」「下水道の整備と適切な維持管理」がそれぞれ 5.8%などとなっている。

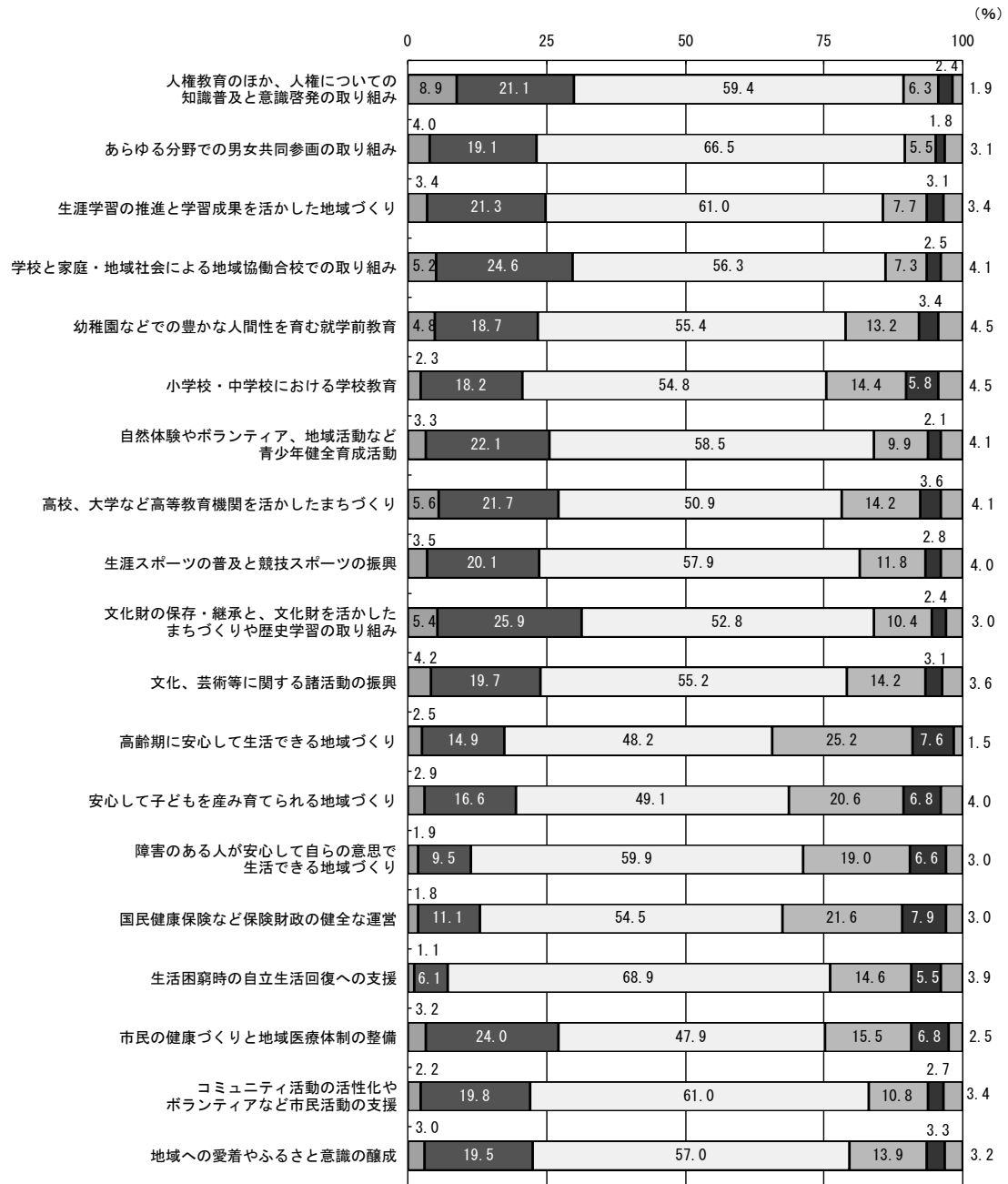
「やや満足」が最も多いのは、「ごみの適正処理と環境美化の取り組み」で 42.1%、次いで「下水道の整備と適切な維持管理」が 32.4%、「JR 駅周辺等の市街地整備」が 31.2%などとなっている。

「どちらともいえない」が最も多いのは、「都市間交流の取り組みと国際理解教育の取り組み」で 74.8%、次いで「漁場の環境保全と農業経営の安定化」が 74.6%、「生活困窮時の自立生活回復への支援」が 68.9%、「農地の保全と農業経営の安定」が 68.9%などとなっている。

「やや不満」が最も多いのは、「安全で歩きやすい道路の整備」で 33.3%、次いで「幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ」が 28.1%、「商業の活性化と魅力ある商店街の形成」が 27.3%などとなっている。

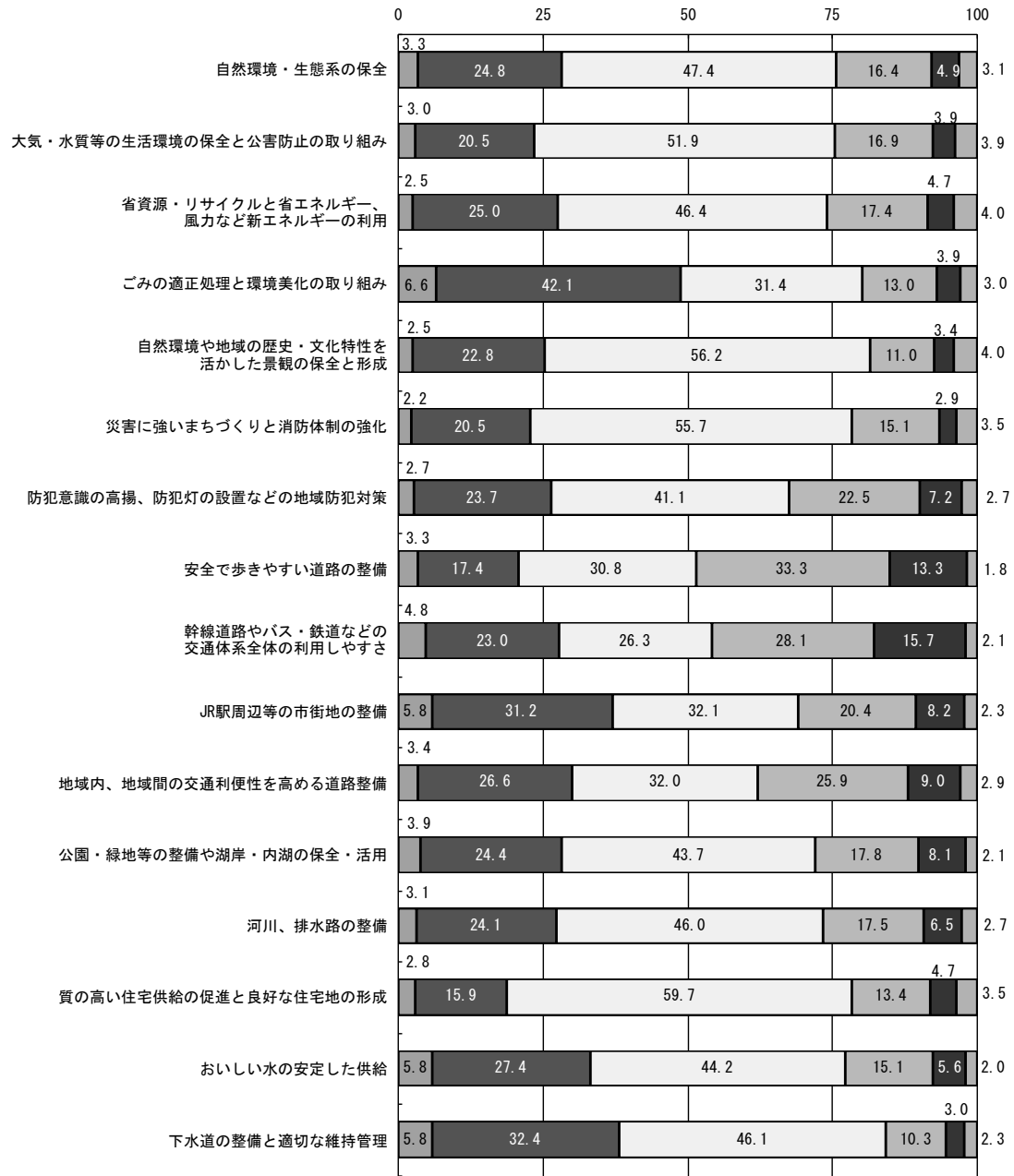
「不満」が最も多いのは、「幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ」で 15.7%、次いで「安全で歩きやすい道路の整備」が 13.3%、「地域内、地域間の交通利便性を高める道路整備」が 9.0%などとなっている。

「くさつ2010ビジョン」の取り組みの満足度
(SA、n=987)



□ 満足 ■ やや満足 □ どちらとも言えない □ やや不満 ■ 不満 □ 不明・無回答

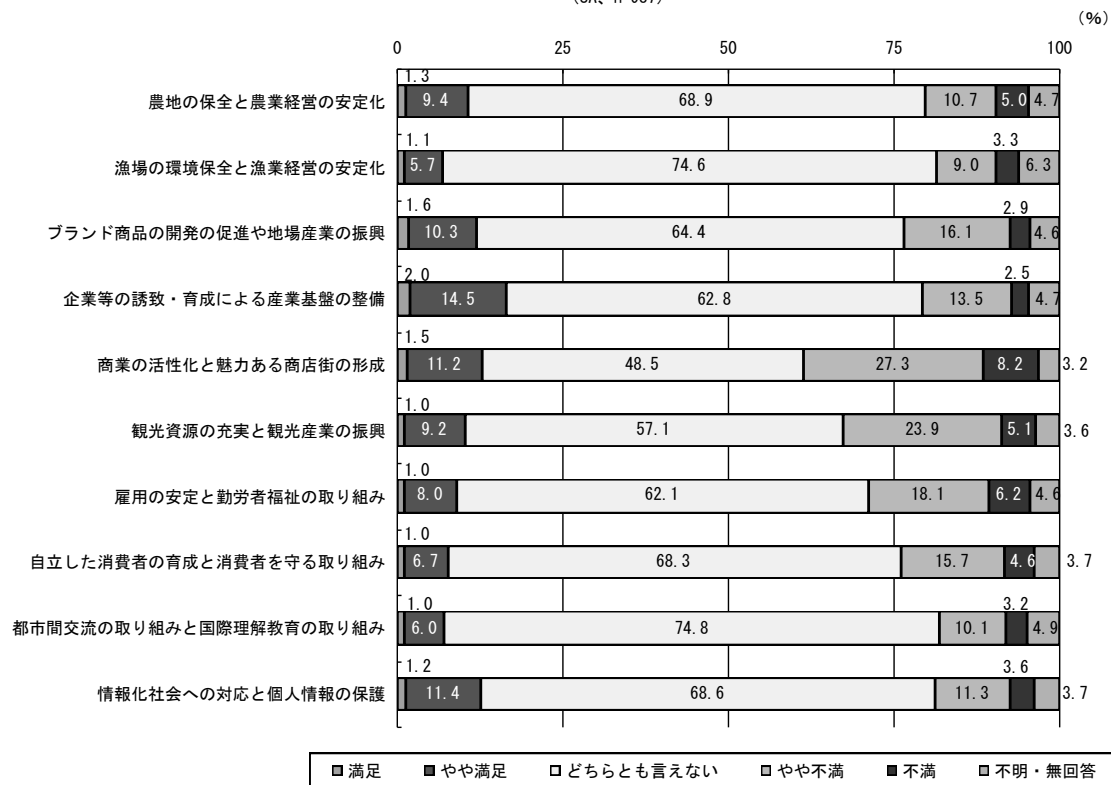
「くさつ2010ビジョン」の取り組みの満足度（続き）
 (SA、n=987)



満足
 やや満足
 どちらとも言えない
 やや不満
 不満
 不明・無回答

「くさつ2010ビジョン」の取り組みの満足度（続き）

(SA、n=987)



② 住み心地について

住み心地に関するいくつかの項目の肯定的評価について、「そう思う」か「そう思わない」かを5段階で尋ねた。

「そう思う」が最も多いのは、「買物をする環境が整っている」で17.8%、次いで「総合的に住みやすいまちである」が14.8%、「自然環境が豊かである」が14.3%などとなっている。

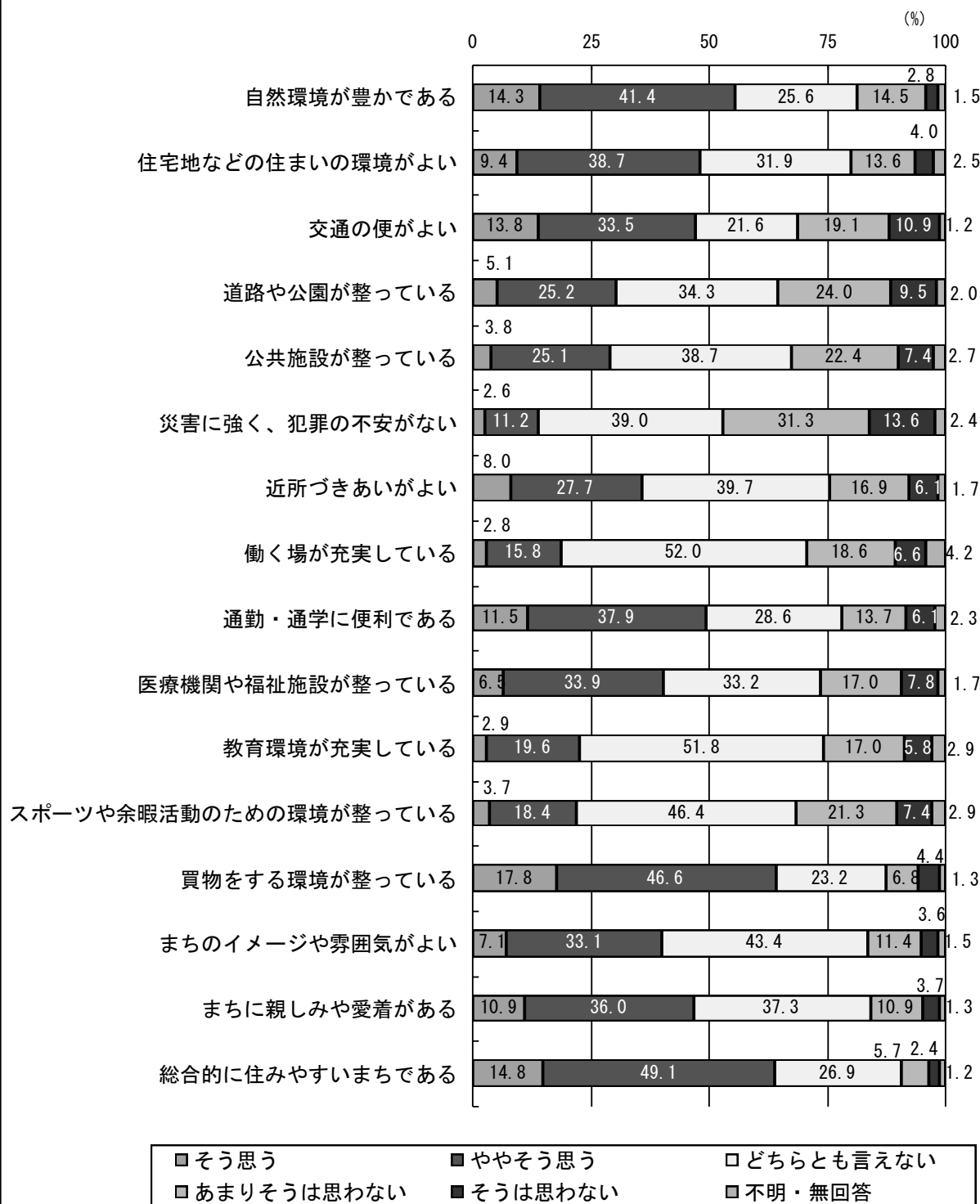
「ややそう思う」が最も多いのは、「総合的に住みやすいまちである」で49.1%、次いで「買物をする環境が整っている」が46.6%、「自然環境が豊かである」が41.4%などとなっている。

「どちらともいえない」が最も多いのは、「働く場が充実している」で52.0%、次いで「教育環境が充実している」が51.8%、「スポーツや余暇活動のための環境が整っている」が46.4%などとなっている。

「あまりそうは思わない」が最も多いのは、「災害に強く、犯罪の不安がない」で31.3%、次いで「道路や公園が整っている」が24.0%、「公共施設が整っている」が22.4%などとなっている。

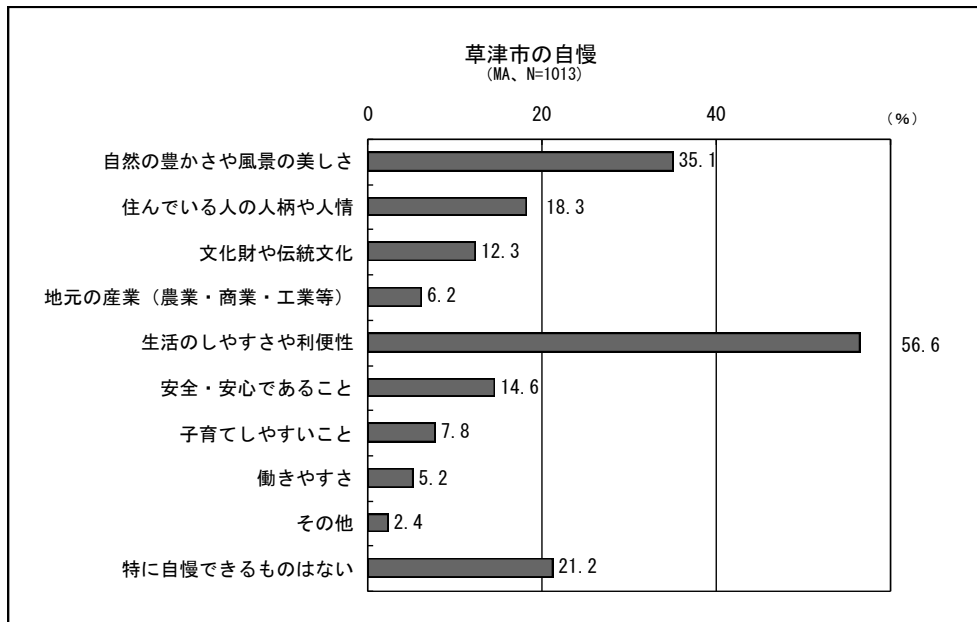
「そうは思わない」が最も多いのは、「災害に強く、犯罪の不安がない」で13.6%、次いで「交通の便がよい」が10.9%、「道路や公園が整っている」が9.5%などとなっている。

住み心地について
(SA、n=1,001)



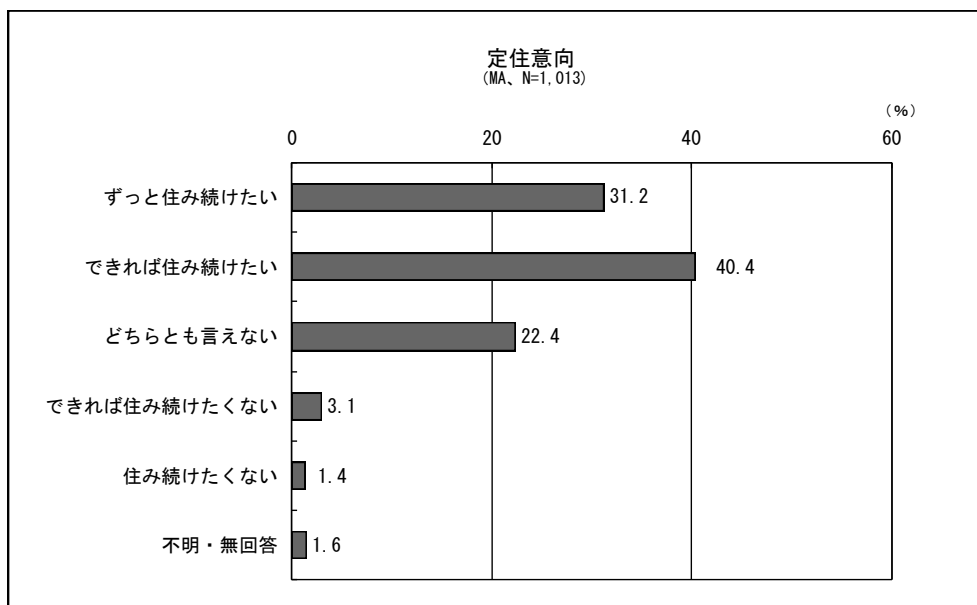
③ 草津市において自慢できること

「生活のしやすさや利便性」が56.6%と最も多く、次いで「自然の豊かさや風景の美しさ」が35.1%、「特に自慢できるものはない」が21.2%などとなっている。



④ 今後の定住意向

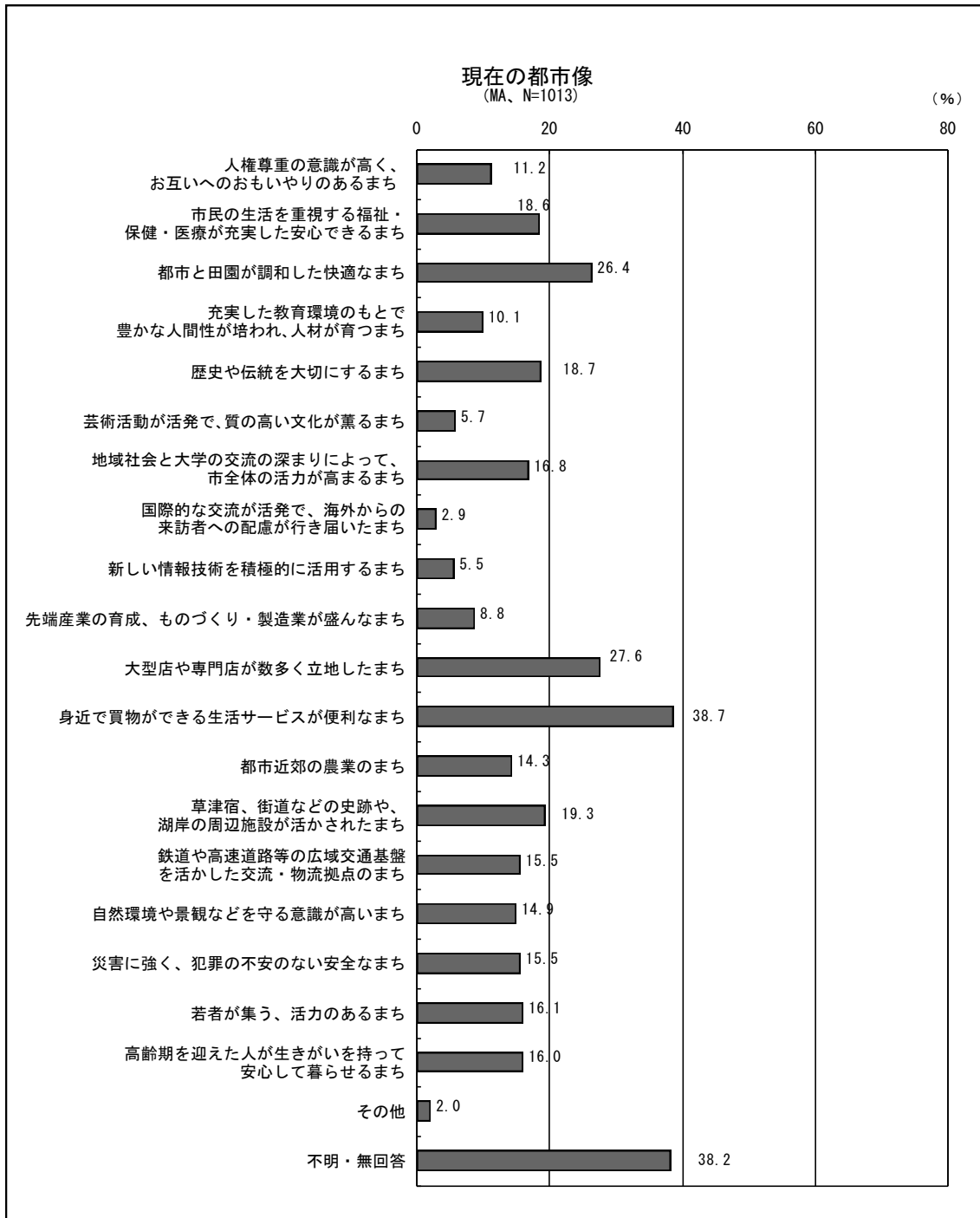
「できれば住み続けたい」が40.4%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が31.2%、合わせて71.6%となっている。



(3) 将来の都市像について

① 現在の都市像

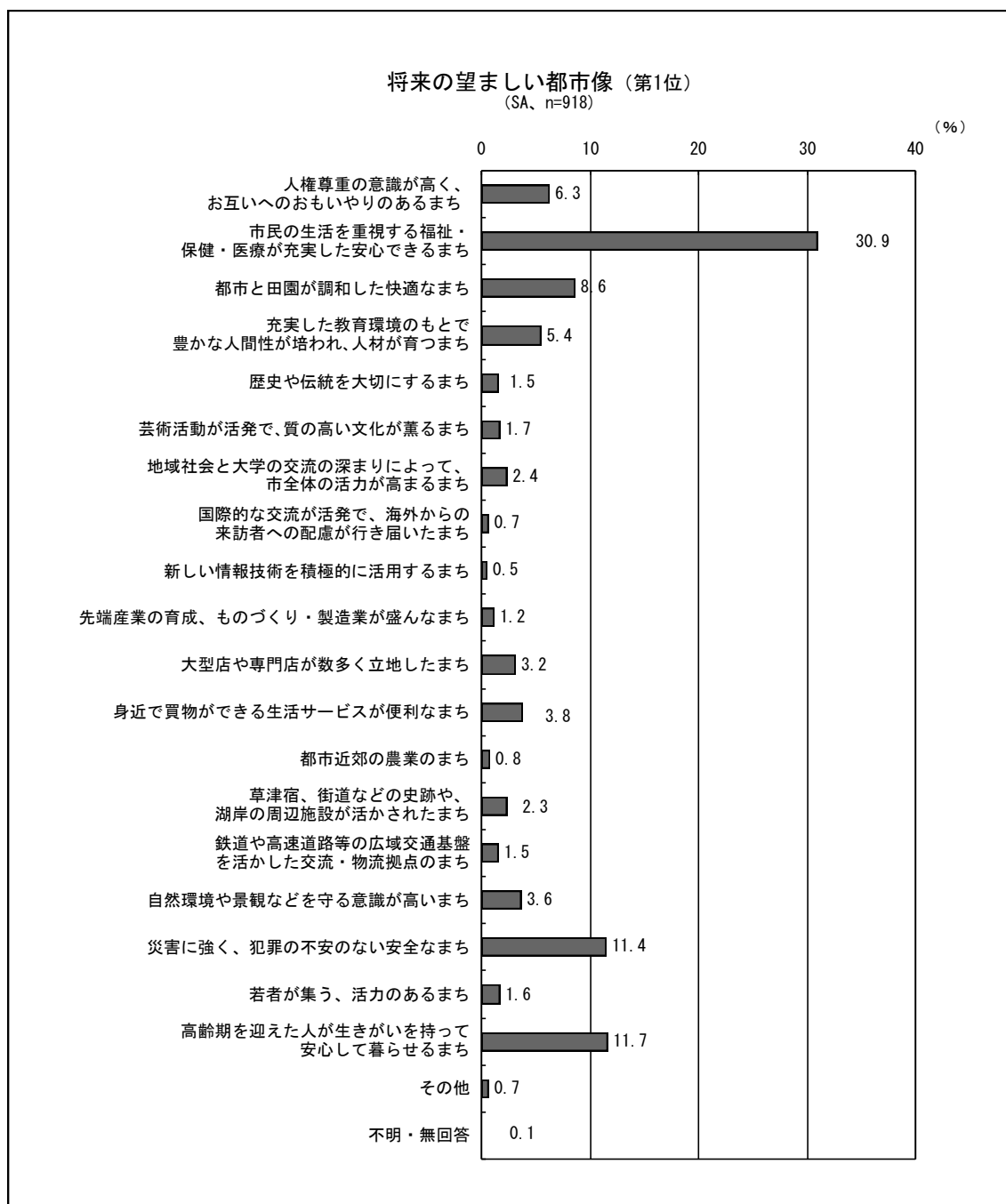
「身近で買い物ができる生活サービスが便利なまち」が38.7%と最も多く、次いで「大型店や専門店が数多く立地したまち」が27.6%、「都市と田園が調和した快適なまち」が26.4%などとなっている。



② 将来の望ましい都市像

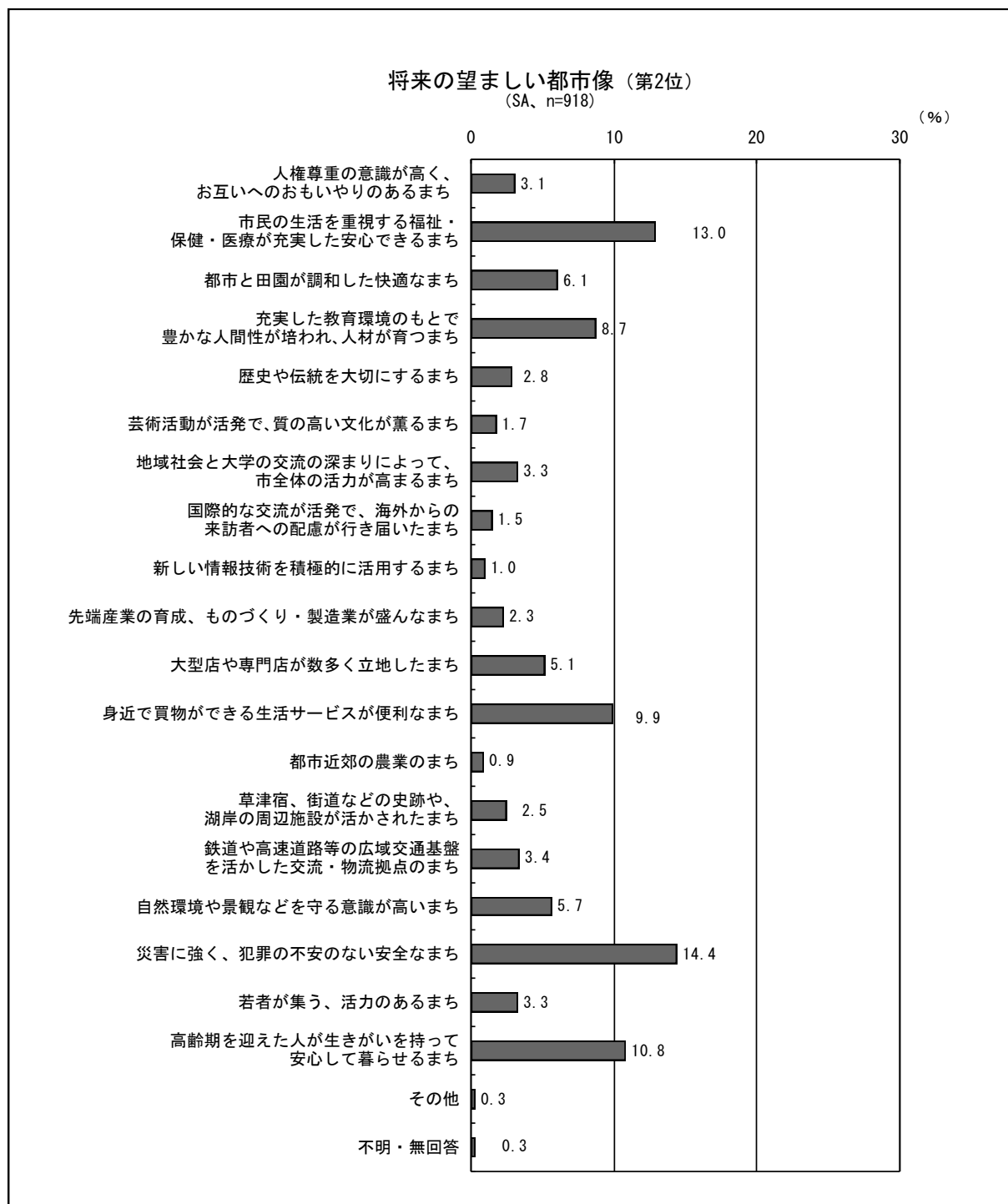
(第1位)

「市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち」が30.9%と最も多く、次いで「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」が11.7%、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が11.4%などとなっている。



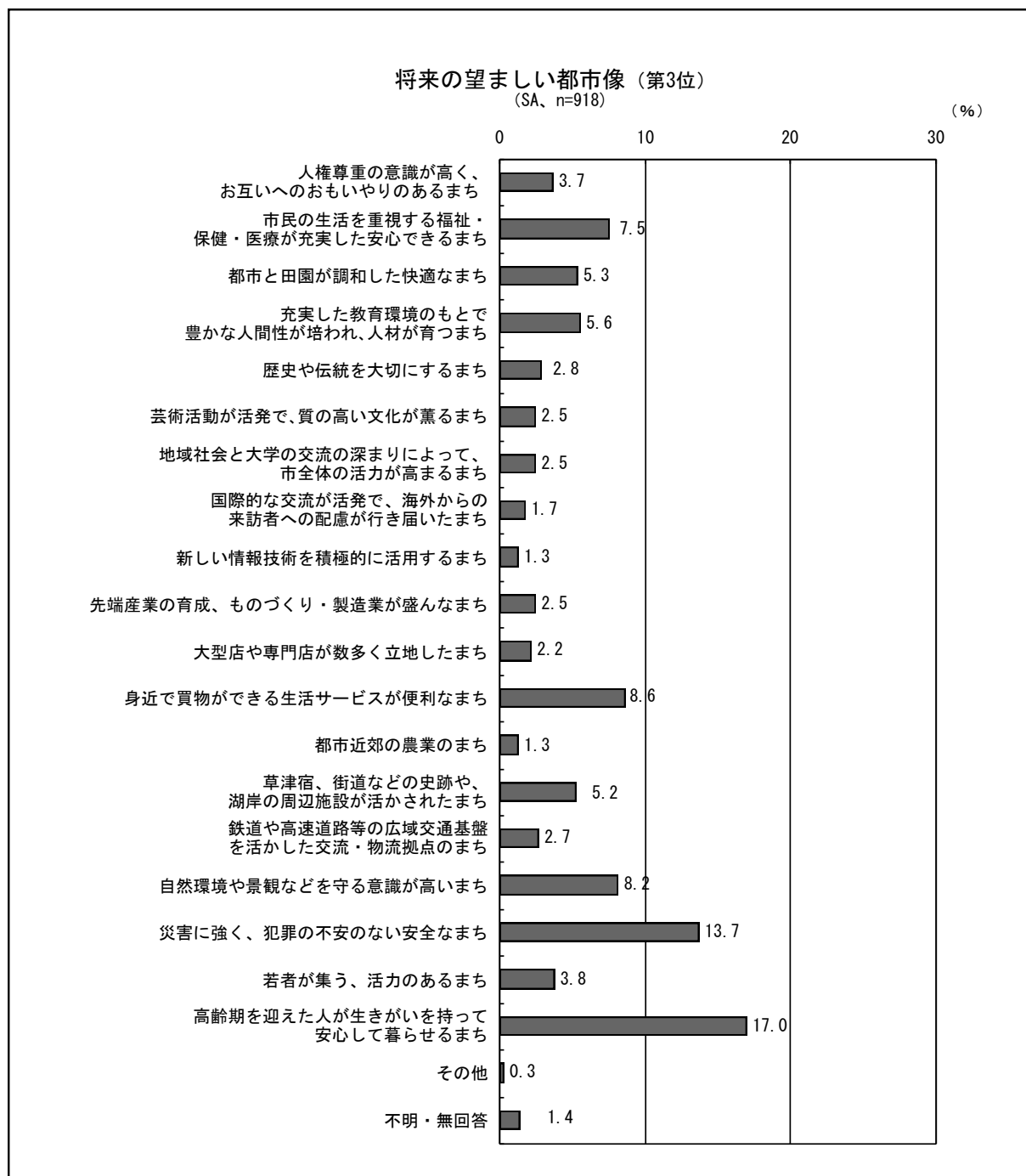
(第2位)

「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が14.4%と最も多く、次いで「市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち」が13.0%、「高齢期を迎えた人が生きがいを
 持って安心して暮らせるまち」が10.8%などとなっている。



(第3位)

「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」が17.0%と最も多く、次いで「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が13.7%、「身近で買い物ができる生活サービスが便利なまち」8.6%などとなっている。



③ 将来の都市像を表すキーワード

自由記述として得られた回答 317 件、延べ 397 件について、その趣旨・イメージを大きく整理したところ、上位の項目を挙げると以下ようになった。

「安心・安全」に係るキーワードが最も多く 18.9%、次いで「人にやさしい」に係るキーワードが 12.0%、「住みよい」に係るキーワードが 11.4%、「自然」に係るキーワードが 11.0%などとなっている。

■都市像を表すキーワード（上位 10 位）

分類	延べ件数	延べ比率 (%)
安心・安全	60	18.9
人にやさしい	38	12.0
住みよい	36	11.4
自然	35	11.0
活気がある	26	8.2
発展	19	6.0
調和	16	5.0
ふれあい	13	4.1
環境	13	4.1
都市と自然	10	3.2

④ 今後重点的に取り組むべき分野

草津市が今後重点的に取り組むべき施策の分野として、「そう思う」か「そう思わない」かを5段階で尋ねた。

「そう思う」が最も多い分野は、「子どもの福祉・子育て支援」で44.5%、次いで「学校教育」が43.9%、「保健、医療、健康管理」が43.2%「高齢者福祉」が43.1%、「防災・防犯、災害対策」が40.6%などとなっている。

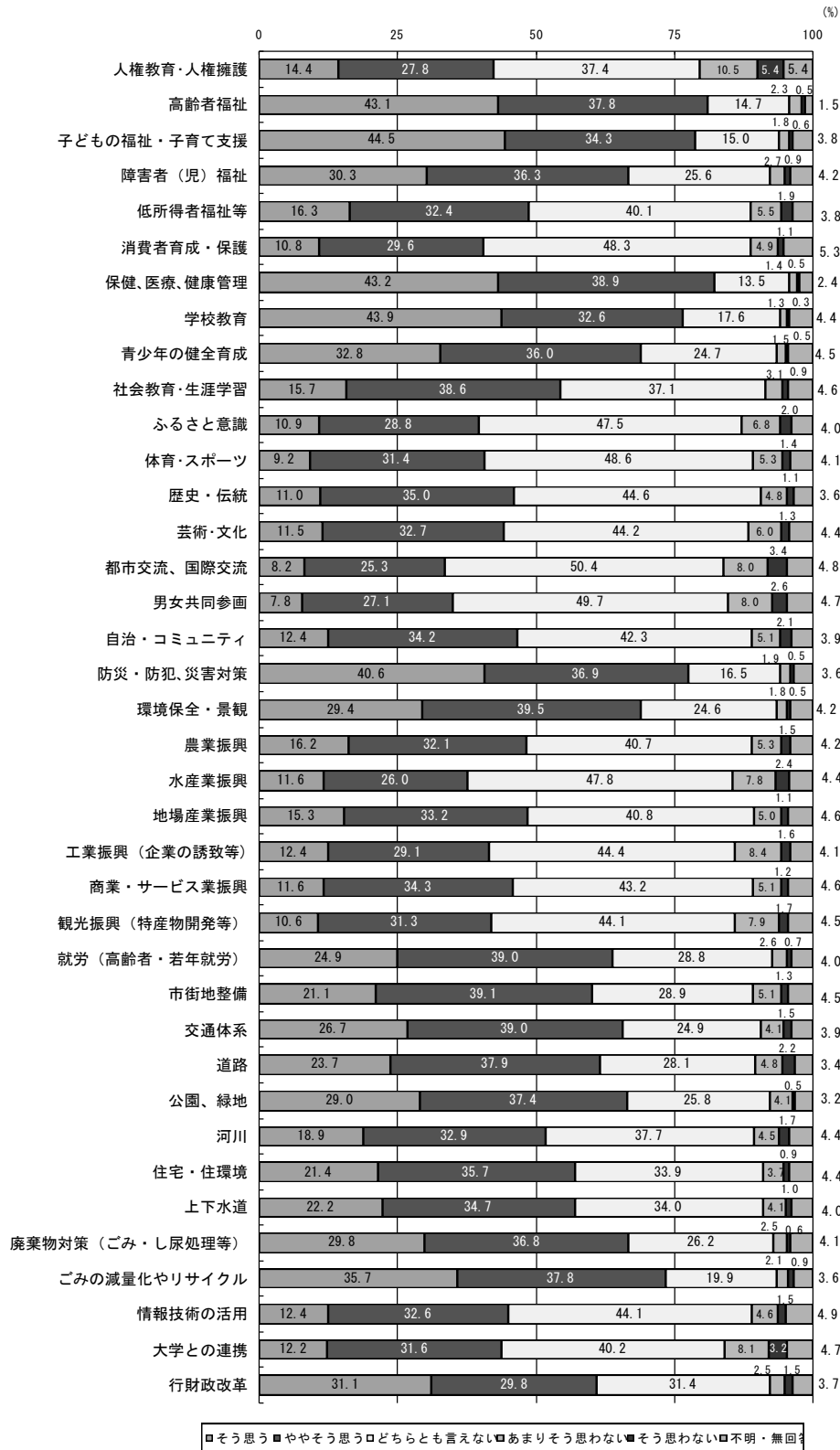
「ややそう思う」が最も多い分野は、「環境保全・景観」が39.5%で、次いで「市街地整備」が39.1%、「交通体系」が39.0%、「就労(高齢者・若年就労)」が39.0%、「保健、医療、健康管理」が38.9%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多い分野は、「都市交流、国際交流」で50.4%、次いで「男女共同参画」が49.7%、「消費者保護・育成」が48.3%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多い分野は、「人権教育・人権擁護」10.5%、次いで「工業振興(企業の誘致等)」が8.4%、「大学との連携」が8.1%などとなっている。

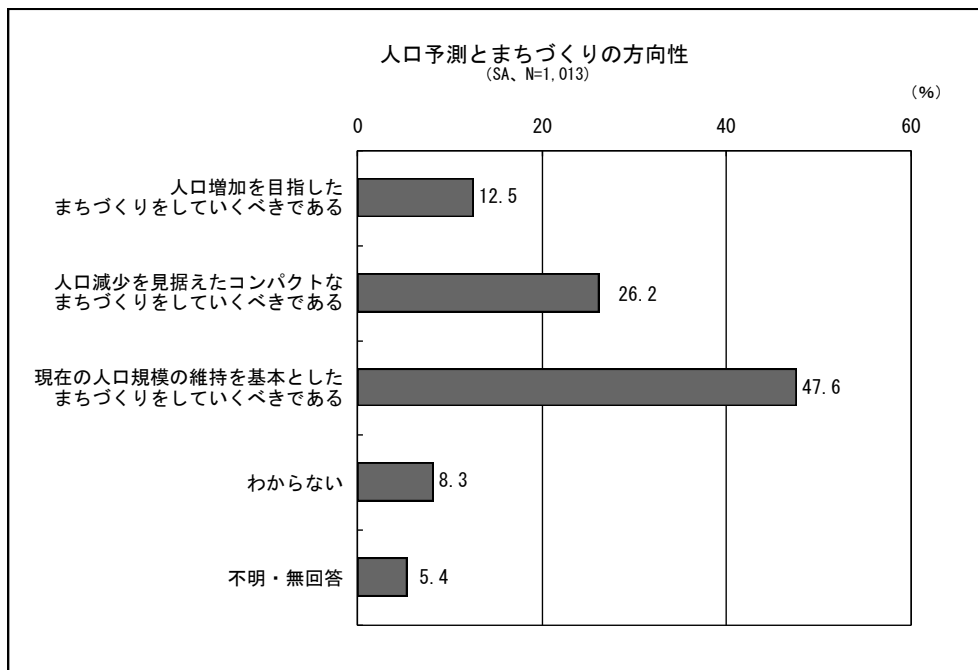
「そう思わない」が最も多い分野は、「人権教育・人権擁護」で5.4%、次いで「都市交流、国際交流」が3.4%、「大学との連携」が3.2%などとなっている。

重点とすべき分野について
(SA、n=985)



⑧ 人口予測を踏まえたまちづくりの方向性

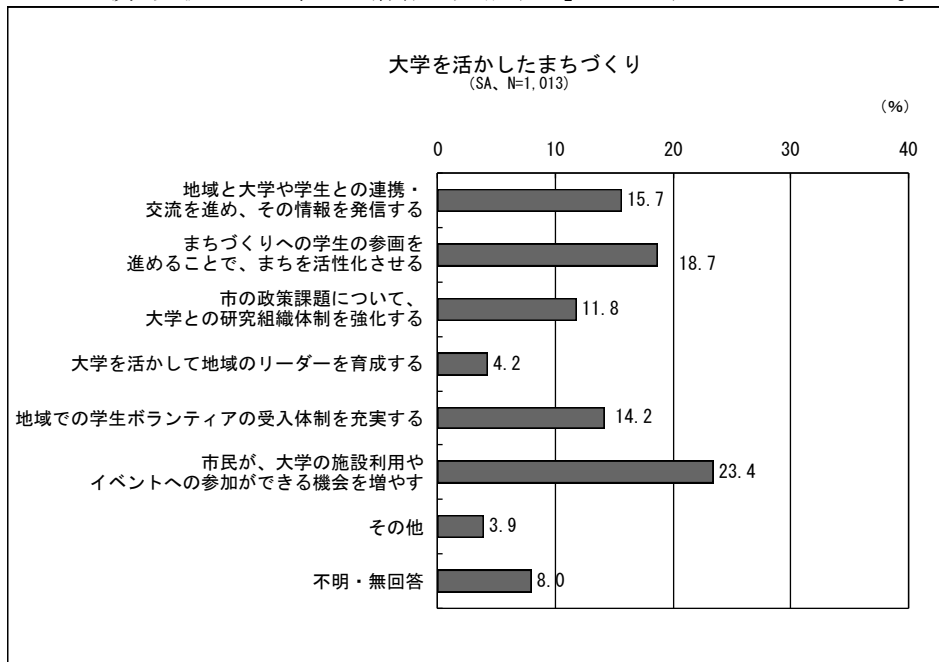
「現在の人口規模の維持を基本としたまちづくりをしていくべきである」が 47.6%と最も多く、次いで「人口減少を見据えたコンパクトなまちづくりをしていくべきである」が 26.2%などとなっている。



(4) 施策の取り組み方向について

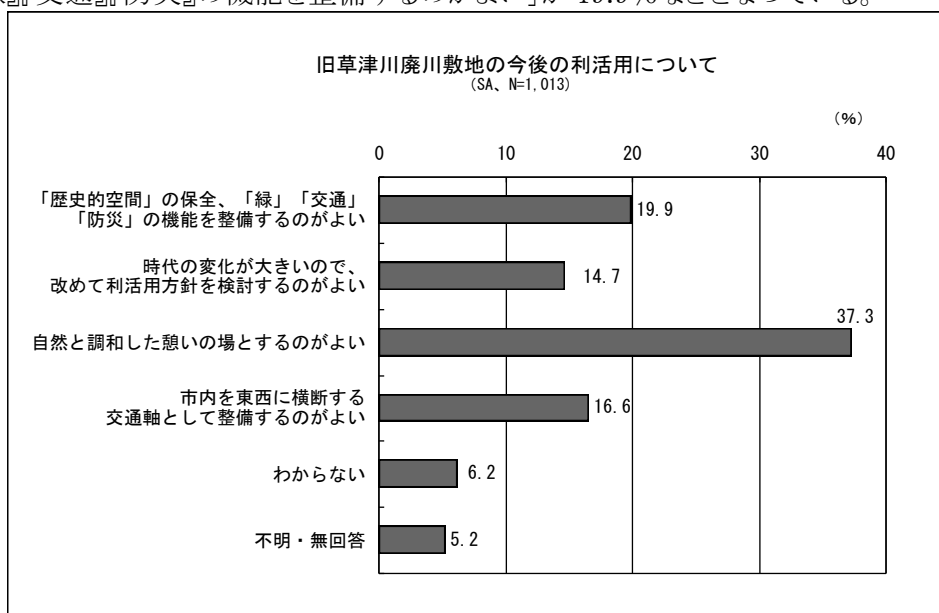
① 大学を活かしたまちづくり

「市民が、大学の施設利用やイベントへの参加ができる機会を増やす」が 23.4%と最も多く、次いで「まちづくりへの学生の参画を進めることで、まちを活性化させる」が 18.7%、「地域と大学や学生との連携・交流を進め、その情報を発信する」が 15.7%などとなっている。



② 旧草津川廃川敷地の今後の利活用

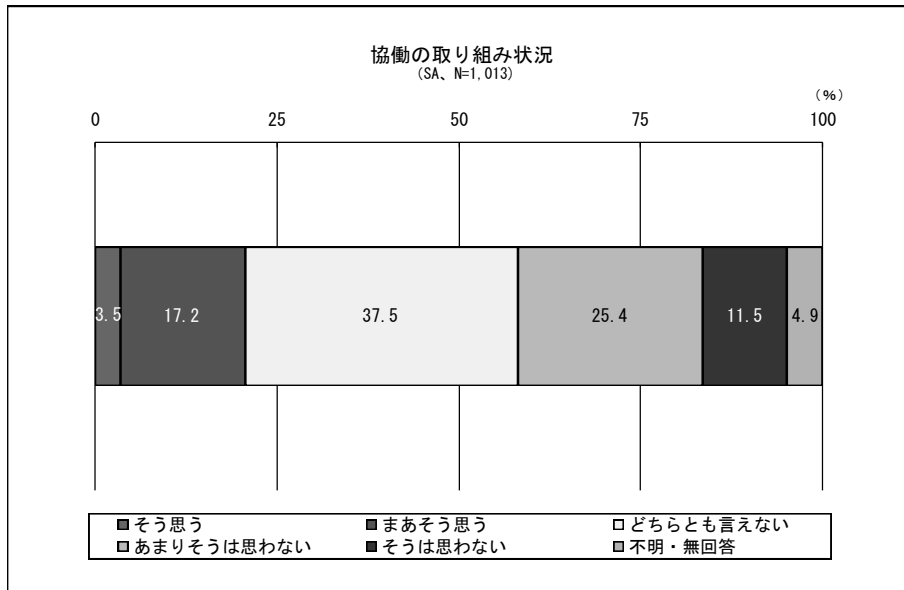
「自然と調和した憩いの場とするのがよい」が 37.3%と最も多く、次いで『歴史的空間』の保全、『緑』『交通』『防災』の機能を整備するのがよい」が 19.9%などとなっている。



(5) 協働のまちづくりについて

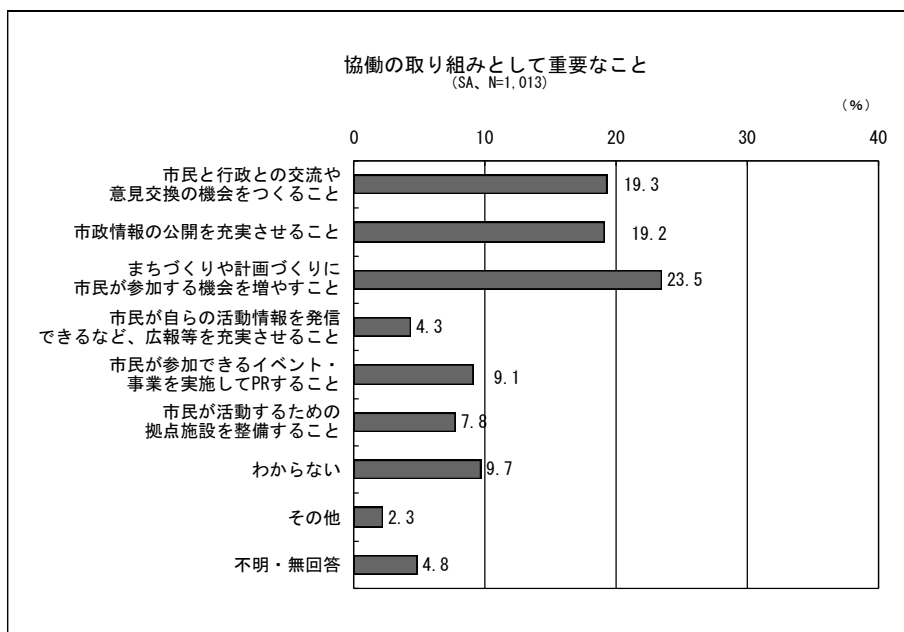
① 市民と行政による協働のまちづくりの取り組み状況

市民と行政が協働してまちづくりに取り組むことができているかどうかについて、「どちらとも言えない」が37.5%と最も多く、次いで「あまりそうは思わない」が25.4%などとなっている。



② 市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして重要なこと

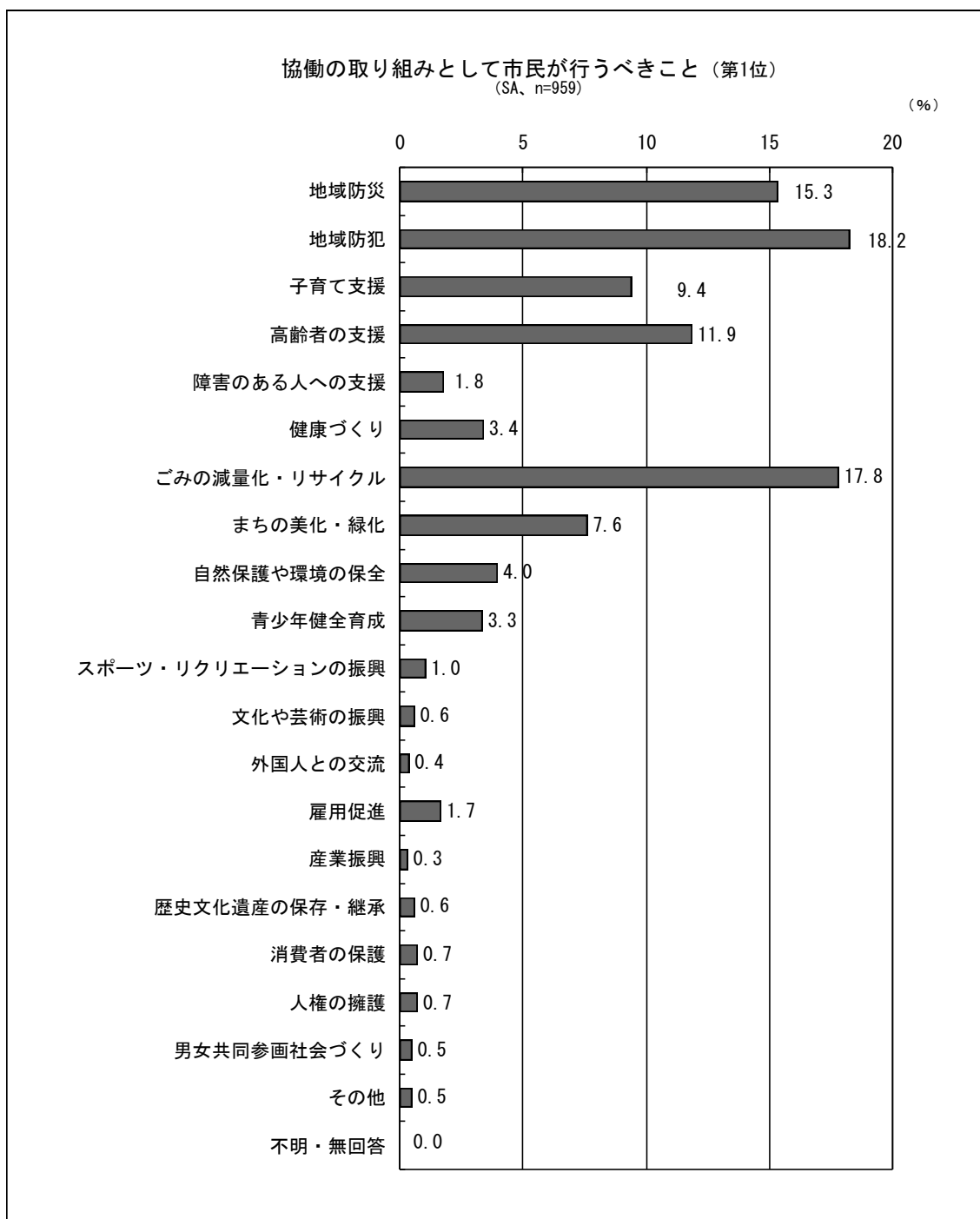
「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が23.5%と最も多く、次いで「市民と行政との交流や意見交換の機会をつくること」が19.3%、「市政情報の公開を充実させること」が19.2%などとなっている。



③ 協働のまちづくりにおいて市民が中心となって行うべきこと・できること

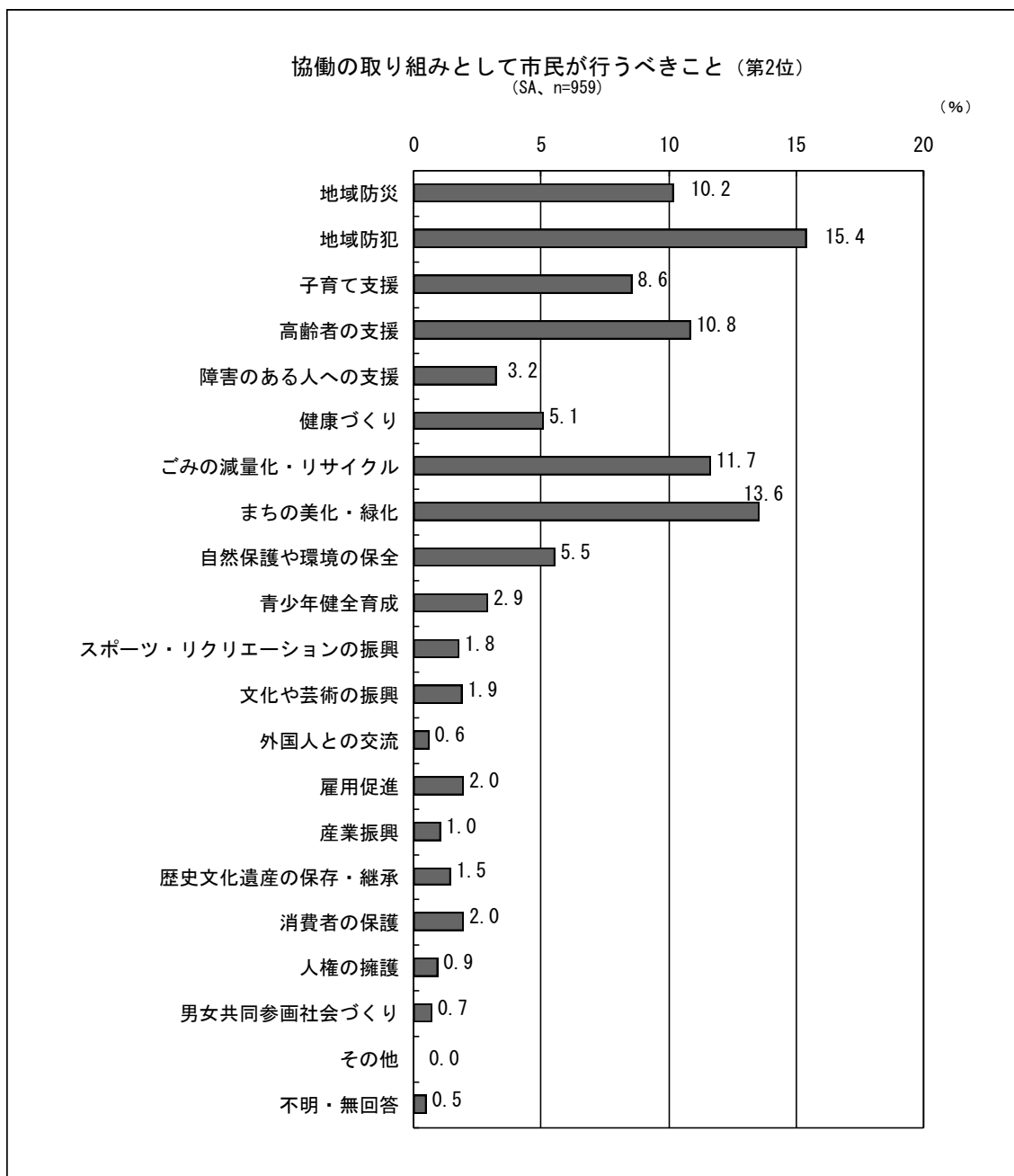
(第1位)

「地域防犯」が18.2%と最も多く、次いで「ごみの減量化・リサイクル」が17.8%、「地域防災」が15.3%などとなっている。



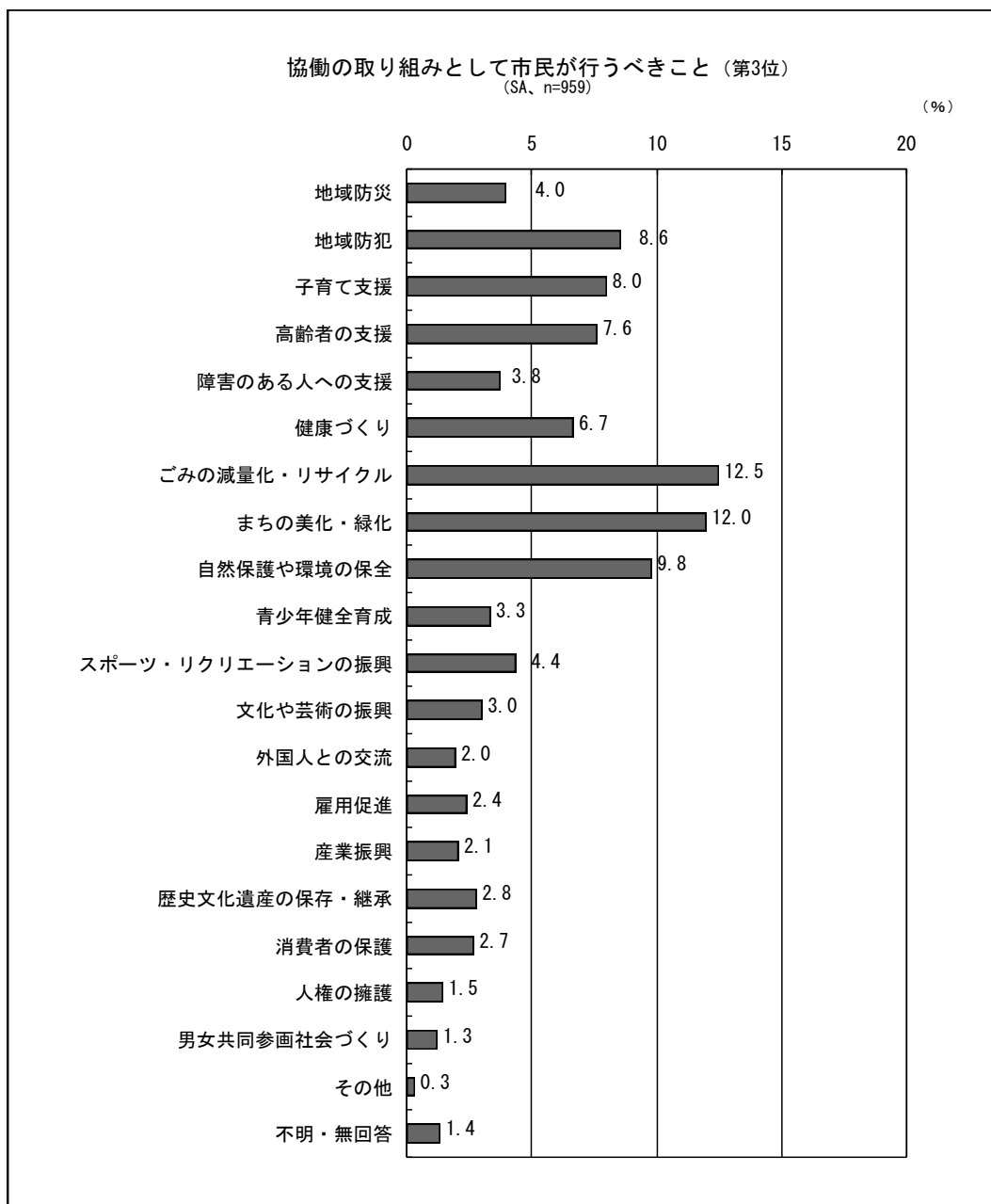
(第2位)

「地域防犯」が15.4%と最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が13.6%、「ごみの減量化・リサイクル」が11.7%などとなっている。



(第3位)

「ごみの減量化・リサイクル」が12.5%と最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が12.0%、「地域防犯」9.8%などとなっている。



(6) まちづくりや市政との関わりについて

① 地域活動について

(現在の参加状況)

「現在参加している」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で30.3%、次いで「スポーツ振興に関する活動」が6.3%、「環境に関する活動」「防災に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ5.5%などとなっている。

「参加したことがある」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で41.5%、次いで「防災に関する活動」が30.4%、「人権に関する活動」が28.4%、「スポーツ振興に関する活動」が26.1%などとなっている。

「現在参加している」と「参加したことがある」の合計から、参加の状況をみると、「自治会・町内会活動」が71.8%と最も多く、次いで「防災に関する活動」が35.9%、「人権に関する活動」が33.3%、「スポーツ振興に関する活動」が32.4%などとなっている。

「知っているが参加したことはない」が最も多いのは、「生涯学習(学校と家庭を除いた教育)に関する活動」で37.8%、次いで「文化・芸術に関する活動」が34.9%、「スポーツ振興に関する活動」が33.8%などとなっている。

「知らないので参加したことはない」が最も多いのは、「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」で73.5%、次いで「産業振興に関する活動」が71.3%、「雇用促進に関する活動」が69.6%などとなっている。

「知っているが参加したことはない」と「知らないので参加したことはない」の合計から、不参加の状況をみると、「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」が最も多く92.4%次いで「産業振興に関する活動」が91.9%、「雇用促進に関する活動」が91.5%などとなっている。

(地域活動への今後の参加意向)

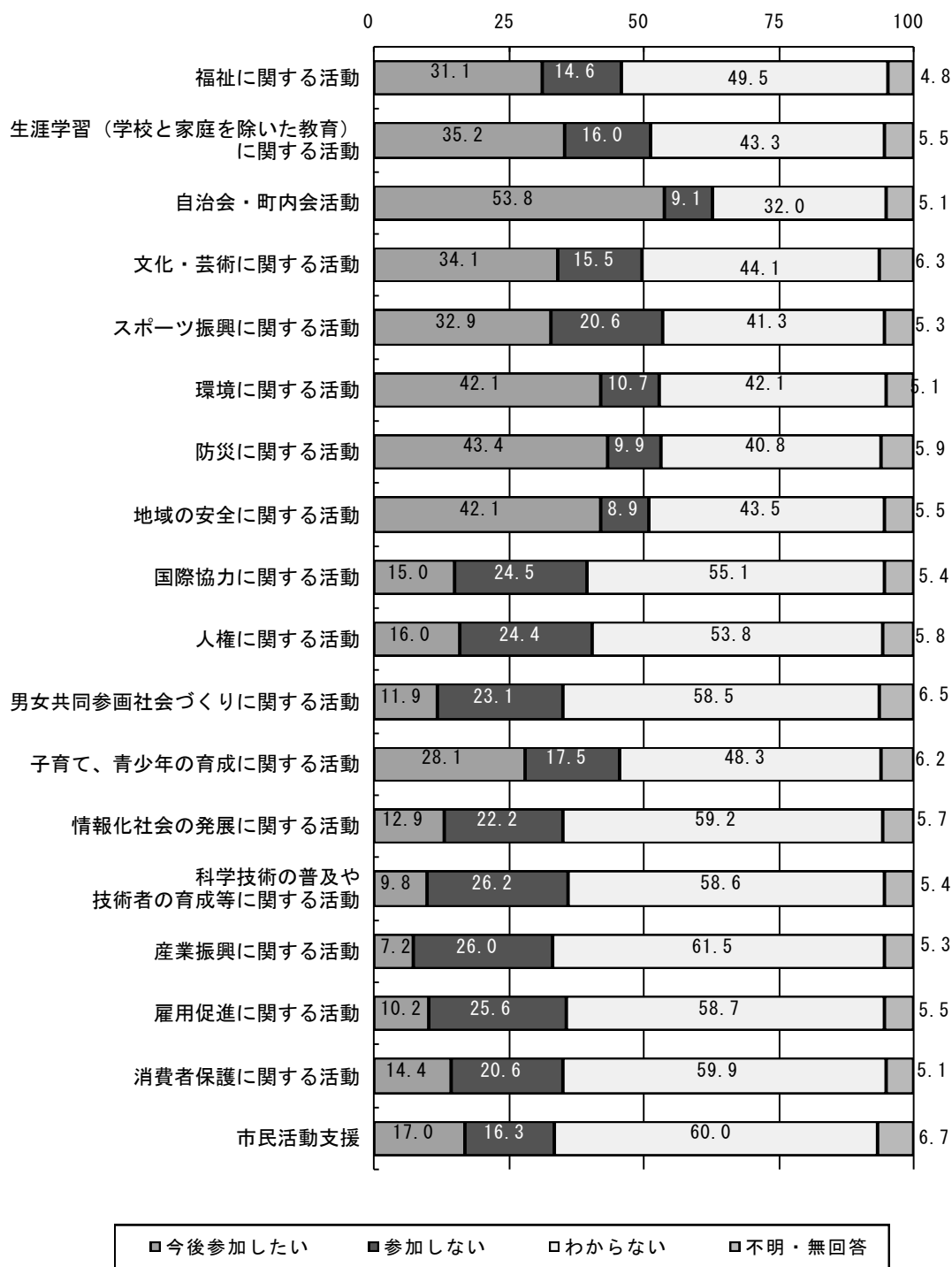
「今後参加したい」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で 53.8%、次いで「防災に関する活動」が 43.4%、「環境に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ 42.1%などとなっている。

「参加しない」が最も多いのは、「産業振興に関する活動」で 26.0%、次いで「雇用促進に関する活動」が 25.6%、「人権に関する活動」が 24.4%などとなっている。

「わからない」が最も多いのは、「産業振興に関する活動」で 61.5%、次いで「市民活動支援」が 60.0%、「消費者保護に関する活動」が 59.9%などとなっている。

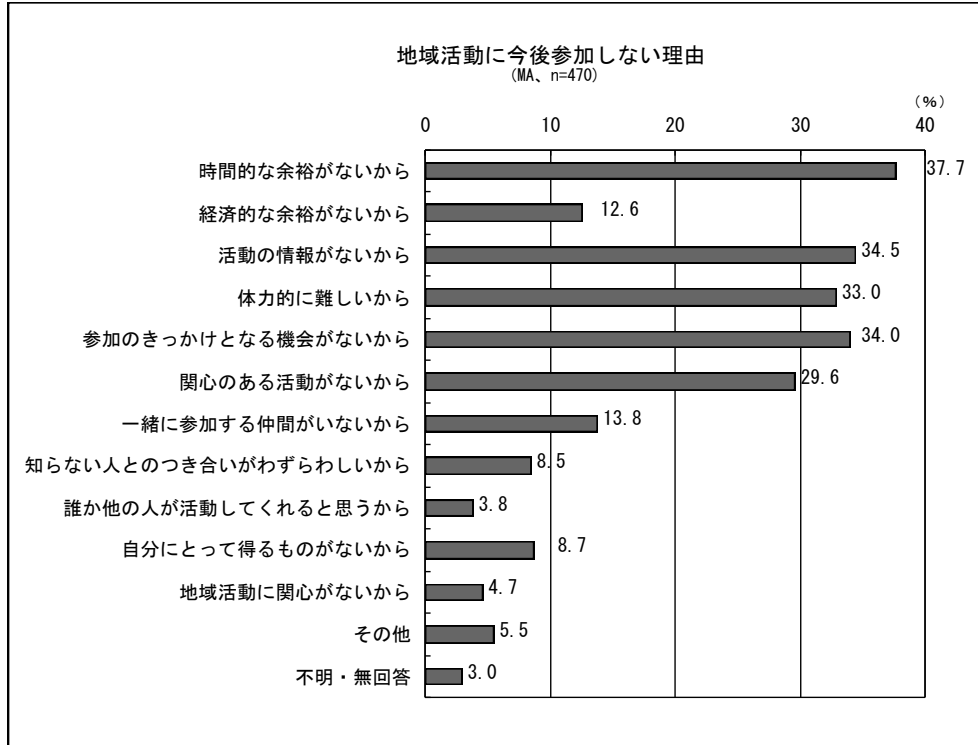
地域活動への今後の参加意向 (SA、n=943)

(%)



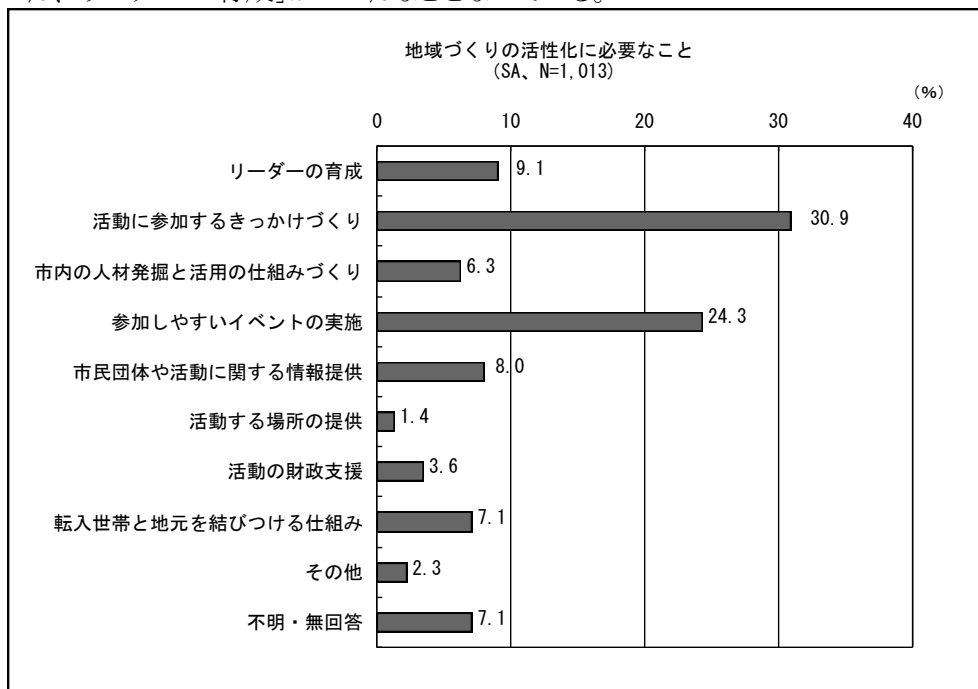
(地域活動へ今後参加しない理由)

「時間的な余裕がないから」が最も多く 37.7%、次いで「活動の情報がないから」が 34.5%、「参加のきっかけとなる機会がないから」が 34.1%などとなっている。



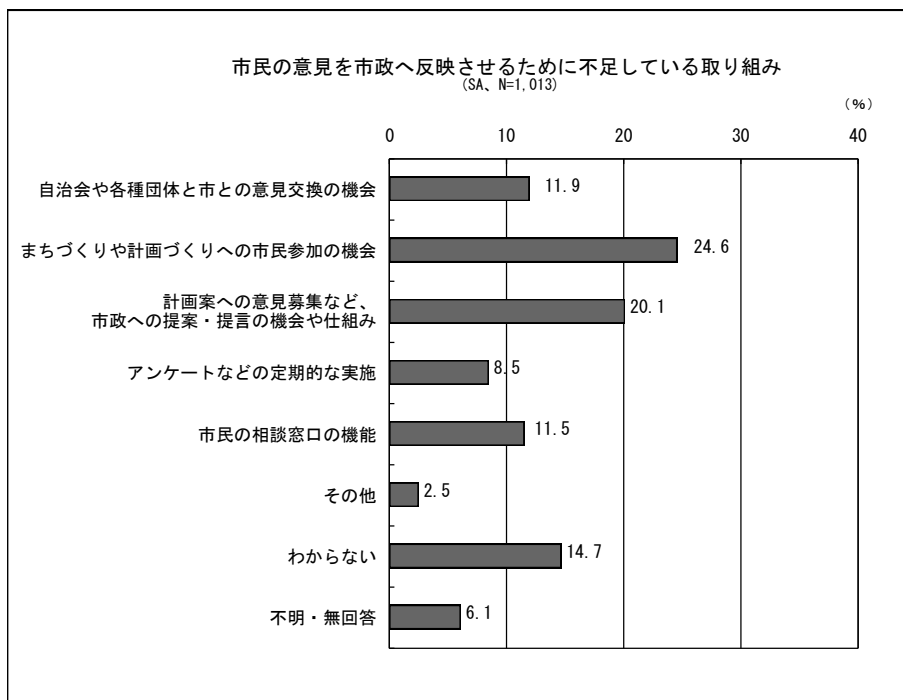
② 地域づくりの活性化に必要なこと

「活動に参加するきっかけづくり」が最も多く 30.9%、次いで「参加しやすいイベントの実施」が 24.3%、「リーダーの育成」が 9.1%などとなっている。



③ 市民の意見を市政へ反映するために不足している取り組み

「まちづくりや計画づくりへの市民参加の機会」が最も多く24.6%、次いで「計画案への意見募集など、市政への提案・提言の機会や仕組み」が20.1%などとなっている。



(7) 今後の草津市のまちづくりについて

自由記述として得られた回答 379 件の内容について、以下の類型により整理した。数値は延べ件数である(以降、同じ)

① 「不足」または「あれば便利な」施設

公園・スポーツ施設	122
【公園】	59
(主な理由)	
・駅前などアクセスの良い場所に広々とした、自然豊かな公園が少ない。	
・子どもから高齢者まで「憩いの場」となるような公園が少ない。	
【温水プール】	17
(主な理由)	
・市内には、民間のスポーツジムの温水プールしかないため。市民の健康づくりのために必要。	
【複合的なスポーツ施設】	17
(主な理由)	
・気軽に運動ができ、安価に使用できる場(トレーニングルームなど)が少ないから。	
・体力向上、健康維持のため必要。	
【プール】	6
(主な理由)	
・施設数が少なく、立地条件が悪い。	
【テニスコート】	4
(主な理由)	
・他に比べると少ない。	
【体育館】	4
(主な理由)	
・施設数が少ないため、なかなか利用できない。また立地条件もあまりよくない。	
【サッカー場】	4
(主な理由)	
・草津市にないため	
【野球場】	3
(主な理由)	
・草津市にないため	
【グランドゴルフ場】	3
(主な理由)	
・野洲・守山などの他都市にはあるが、草津市内にはないため	
【その他】	5

子育て関連施設	70
【児童館】 (主な理由) ・大津市、栗東市など他都市と比較して児童館の数が少ない ・屋内で子どもが遊べる場所が少ない。 ・育児や子育て相談ができる場所や機会が少ない。	23
【子育て支援センター】 (主な理由) ・天候を気にせず子どもが遊べる場所が少ない。	24
【保育所(保育園)】 (主な理由) ・子どもの数に対して保育所(保育園)の数が少ない。	18
【学童保育・放課後児童クラブ】 (主な理由) ・学区により不足している。	5
医療機関	62
【公立の病院】 (主な理由) ・大津市や近隣の市町村にはあるが、草津市にはないため。	40
【総合病院】 (主な理由) ・市内には、入院施設を持つ総合病院が少ない。	9
【高齢者を対象とする医療機関】 (主な理由) ・高齢化を迎えるにあたって必要	3
【小児科】 (主な理由) ・不足しているため	2
【その他】	7

福祉施設	36
【高齢者向けの福祉・介護施設】	31
（主な理由）	
・グループホーム、ショートステイ、入所等が相対的に不足している。	
【障害のある人のための施設】	5
（主な理由）	
・立地条件が悪く、サービス内容が十分ではないため。	
文化施設	27
【ホール】	9
（主な理由）	
・既存の施設は立地が悪く、また、設備が充実していない。コンサートや興行的な催しを呼べる大型の充実したものが市内にはないから。	
【映画館】	10
（主な理由）	
・草津市内には、車でないと行けない所にしかないから。	
【その他】	8
公共機関等	20
【図書館】	8
（主な理由）	
・蔵書を充実させる。	
・南草津駅の分室のように、利便性のよいところに設置する。	
【市役所・保健センターの支所・分室】	4
（主な理由）	
・今の立地は不便なため、利便性の良い所に欲しい。	
【その他】	8
道路・交通	18
【道路】	7
（主な理由）	
・市内の一部の道路が狭い	
【駐輪場】	5
（主な理由）	
・駅前など駐輪場の整備が必要。不法駐輪が多い。	
【その他】	6

その他	89
【市民が多目的に自由に使える場所(部屋)】 (主な理由) ・既存の施設は、利用が偏っており、利用率が高い施設と低い施設がある。 ・「フェリエ」「市民センター」「ふくふくセンター」などでは部屋が足りていない。 ・少数サークルや一般市民が気軽に利用できる施設がない。	20
【商業施設】 (主な理由) ・商業施設が偏在している。 ・デパートや専門店が少ない。	18
【レジャー施設】 (主な理由) ・草津市にはレクリエーション施設が少ないため。大阪や京都へ人が流れている。	15
【幼稚園】 (主な理由) ・子どもの数に対して、幼稚園が少ないため	6
【その他】	23

② 見直しが必要な既存施設・事業まとめ

自由記述として得られた回答 223 件の内容について、以下の類型により整理した。

② 見直しが必要な既存施設・事業まとめ

見直しが必要な既存施設等

公園・スポーツ施設	24
【公園】	16
(主な理由)	
・公園の整備が十分でない所、ボランティアの活用等整備のあり方を考える必要がある。	
・公園の PR が十分ではない。集客方法などを考えるべき。	
【スポーツ施設】	8
(主な理由)	
・利用者のニーズにあった施設設備ができていない。	
医療機関	3
(主な理由)	
・総合病院の立地、交通アクセスなどの利便性を考慮すべき。	
福祉施設	11
(主な理由)	
・高齢化社会を迎えるにあたって、福祉施設が不足している。また、既存のものは、利便性があまりよくない。	
文化施設	11
(主な理由)	
・交通のアクセスが悪く、大きさ、施設整備など中途半端で有効に活用されていない。	
・利用者が少ない	
公共機関等	21
【図書館】	12
(主な理由)	
・蔵書が少ない、開館時間が遅い。	
・立地が悪い。図書館全体が老朽化し、暗い。	
【市役所】	5
(主な理由)	
・設備が大きすぎるのではないか。	
【その他】	4

道路・交通	30
【草津駅前の整備】	11
（主な理由）	
・駅前の道路が狭い。魅力的な駅前となっていない。	
【草津駅周辺の駐車場】	9
（主な理由）	
・既存のものが十分に活用されていない一方で、西口には十分なスペースが無い。	
【道路整備】	6
（主な理由）	
・交通量と道路の幅があっていない。	
【その他】	4
その他	66
【公民館・まちづくりセンターなど】	15
（主な理由）	
・サービス内容や今後のあり方について検討すべき。特定の団体の利用になっており、場所すら知らない人もいる。	
【商業施設】	13
（主な理由）	
・駅前の立地条件を活かしきれいな商業施設がある。	
・商店街の活性化	
【小学校・中学校】	6
（主な理由）	
・基礎学力の向上につとめるべき	
・学校設備の有効活用	
【幼稚園】	5
（主な理由）	
・サービス内容の充実が必要。また、娯楽施設などは景観に配慮すべき。	
【レジャー施設】	5
（主な理由）	
・魅力的なものがない	
【その他】	22

見直しが必要な事業等

役所	37
【市役所の開所時館】	5
（主な理由）	
・土日の開所を検討してほしい。	
【人権事業】	5
（主な理由）	
・やりすぎているような気がする。	
【その他】	27
交通	32
【市内の公共交通サービスの充実】	21
（主な理由）	
・路線バスの充実。	
【南草津駅への新快速停車】	7
（主な理由）	
・利便性を高めるため	
【その他】	4
公共工事	19
【河川工事】	9
（主な理由）	
・必要性が見いだせない。	
【駅前整備】	5
（主な理由）	
・雑然としている。コンセプトを持った魅力的な開発をするべき。	
【その他】	5
ごみ	17
【ごみ袋】	12
（主な理由）	
・ごみ袋の配布方法の検討	
【ごみの収集方法】	5

環境	14
【風力発電】	6
（主な理由）	
・必要なのか。	
【その他】	8
その他	31
【観光】	8
【教育】	4
【その他】	19

自由記述

自由記述として得られた回答 288 件の内容について、以下の類型により整理した。

① 自由記述

市民と行政による協働のまちづくりについて	78
【市民参加】	34
・市民が参加できる組織体制や人材育成、参加意欲を高めるインセンティブなどの仕組みづくりが必要.....	21
・現在の活動組織や内容の見直しが必要.....	4
・学生や企業人の参加を促す.....	4
・その他.....	5
【市民と行政の意見交換の方法】	26
・行政が市民の意見を聞く回数や、実施方法の改善等を行い、機会を増やし、気軽に意見交換ができるようにする.....	19
・その他.....	7
【市民が参加するイベントについて】	12
・大規模なイベントだけでなく、地域に活動、サークル活動ごとにイベントを増やすべき.....	12
【その他】	6
その他	64
【開発・整備に関すること】	28
・道路整備に関して.....	9
・旧草津川の有効活用.....	5
・その他.....	11
【市政等の情報提供に関すること】	15
・分かりやすい情報提供の充実.....	15
【環境に関する取り組み】	20
・ポイ捨ての禁止や街路樹の整備等の環境美化に関すること.....	9
・その他.....	11
【学校・教育に関すること】	13
・小学校・中学校の義務教育の充実.....	6
・その他.....	7
【財政に関すること】	13
・無駄な支出を見直し、財政の健全化.....	9
・その他.....	4

【生活の安全に関すること】_____11

【子どもに関すること】_____8

【福祉に関すること】	8
【その他】	60
・行政への要望	30
・アンケートに関すること	14
・その他	16